



# 議会構成が代わりました

4月13日に第3回臨時会が開催され、正副議長の選挙をはじめ、各委員会委員の選任等が行われました。

◆議長 猪股 文彦 ◆副議長 中川 直美

## ◇議会運営委員会

委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員		
議会運営	8	近藤 和義	金田 淳一	山田 伸之 岩崎 隆寿	渡辺 慎一 中村 良夫	中川 隆一 竹内 道廣

## ◇常任委員会

委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員		
総務文教	8	佐藤 孝	山田 伸之	上杉 育子 近藤 和義	坂下 善英 中川 直美	中川 隆一 猪股 文彦
市民厚生	7	荒井 眞理	室岡 啓史	宇治沙耶花 祝 優雄	金田 淳一 (欠員1)	岩崎 隆寿
産業建設	7	渡辺 慎一	広瀬 大海	北 啓 竹内 道廣	駒形 信雄 (欠員1)	中村 良夫

## ◇特別委員会

委員会名	定数	委員長	副委員長	委 員		
議会報編集	9	北 啓	宇治沙耶花	上杉 育子 渡辺 慎一 近藤 和義	山田 伸之 岩崎 隆寿	荒井 眞理 中村 良夫
航路問題に関する調査	8	祝 優雄	駒形 信雄	北 啓 坂下 善英	宇治沙耶花 金田 淳一	室岡 啓史 中村 良夫
行財政改革に関する調査	8	山田 伸之	室岡 啓史	広瀬 大海 渡辺 慎一	上杉 育子 岩崎 隆寿	荒井 眞理 中川 直美

◇監査委員 岩崎 隆寿 ◇新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員 荒井 眞理

## 佐渡市議会 会派別議員構成名簿 (平成30年4月13日現在)

名 称	人数	代 表 者	幹 事 長	経 理 責 任 者	構 成 員
新 生 ク ラ ブ	5	佐藤 孝	金田淳一	駒形信雄	上杉育子 広瀬大海
政 風 会	3	中川隆一	室岡啓史	北 啓	
政 友 会	2	岩崎隆寿	坂下善英	(坂下善英)	
日本共産党市議団	2	中川直美	中村良夫	(中村良夫)	
市 政 会	1	竹内道廣	(竹内道廣)	(竹内道廣)	
地域政策研究会	2	祝 優雄	渡辺慎一	(渡辺慎一)	
公 明 党	1	山田伸之	(山田伸之)	(山田伸之)	
民 進 党	1	近藤和義	(近藤和義)	(近藤和義)	
無 会 派	3	宇治沙耶花	荒井眞理	猪股文彦	

( ) は会派内の役員を兼務

## 3月30日開催 第2回(3月)臨時会の審議事項

### ○平成30年度佐渡市一般会計暫定予算について

先の3月定例会で、平成30年度佐渡市一般会計予算が否決され、4月以降の市民生活に大きな影響が生じないように、4月1日から6月30日までの3か月間を暫定期間とし、期間内に必要な経費が計上され、審査を行いました。

審査の結果、可決すべきものと決定しました。

※暫定予算とは、本予算(通年)が年度開始前までに成立する見込みがない場合、一定期間について、行政の中断を防ぐために編成するつなぎの予算

## 4月13日開催 第3回(4月)臨時会の主な審議事項

### ○専決処分の承認を求めることについて(佐渡市税条例の一部を改正する条例の制定について)

改正地方税法が公布されたことに伴う改正であり、全会一致で可決されました。

### ○専決処分の承認を求めることについて

#### (佐渡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)

改正地方税法が公布されたことに伴う改正であり、国民健康保険の中間所得者層の保険税負担の軽減を図るために課税限度額の引き上げ及び保険税軽減措置の対象となる世帯の所得基準を緩和するものです。審査の結果、賛成多数で可決されました。

## 5月16日～18日開催 第4回(5月)臨時会の主な審議事項

### ○公の施設に係る指定管理者の指定について

#### (佐渡市総合体育館、佐和田テニスコート、佐和田野球場)

一般財団法人佐渡市スポーツ協会が指定管理者となり、平成30年7月1日から平成33年3月31日まで、管理を行うこととなります。

### ○平成30年度佐渡市一般会計予算について

平成30年第1回定例会で否決された、平成30年度佐渡市一般会計予算について、佐渡市将来ビジョンに掲げる産業の振興、観光地域づくりの推進、災害に強い島づくり、佐渡活性化に向けた地域づくりの4つの戦略を集中的に取り組むことをベースに、事業計画やスケジュールの見直しが必要な事業については計上を見送り、子育て支援や地域福祉、住環境整備等、市民の暮らしに直結する事業については計上又は増額されたもので再提案がされました。審査の結果、賛成多数で可決されました。

主な意見は次のとおりです。

#### ① 合併特例債について

発行期限が5年間延長されたことを受けての新市建設計画見直しにあたっては、取り組み方針及びスケジュールを明確にし、市民への説明に努め、理解と協力を得て進められたい。

#### ② 各種計画、方針について

佐渡市将来ビジョン、佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間の満了による見直しを進めるにあたっては、企画部門の人員が不足していると思料する。よって、体制強化を図り取り組むべきである。

#### ③ 上記の①、②の推進にあたっては、「いずれの計画も市民のご理解とご協力が必要であり、そのためにも、計画の検討作業から意思決定まで、各プロセスにおいて説明して行きます。」との施政方針のとおり推進すべきである。

#### ④ 社会教育における公民館活動費等や学校教育における需用費などの縮減による影響が出ないように、現場の声を反映した対応をすべきである。

# 3月2日~3月27日開催 第1回(3月)定例会

条例案25件、予算案25件、その他の議案9件を可決  
平成30年度一般会計予算案を否決、補正予算案1件を撤回  
(審議結果は18・19ページを参照)

主な議題と所管の委員会での審査経過は次のとおりです。

## 総務常任委員会

### ◎議案第43号 平成30年度佐渡市一般会計予算について

当委員会では予算の全体像、特に予算の選択と集中による「スクラップアンドビルド」と「一般財源ベース15%カット」の方針と内容について詳しく審査を行った。廃止、削減した事業の総額は約57億7千万円。新規、増額分は約47億7千万円であった。また一般財源ベースでの削減額は約14億3千万円であり、これは平成29年度一般財源約309億円の4.6%に当たる。すなわち15%カットに至らなかったことが明らかになった。

また本庁舎改修事業に一般財源を充当することや、福祉・子育て事業が削減されていることから、全般的に市民の生活に直結する事業には重点的に予算配分すべきとの意見があがった。以上、委員会としては賛成2、反対3の賛成少数で否決との結果となった。

## 社会文教常任委員会

### ◎議案第59号 平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第13号)について

#### ◎相川地区統合保育園 移転改築事業について

議案第59号平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第13号)は、相川地区統合保育園移転改築事業の建設用地取得に係る経費を計上したものであるが、当委員会で現地視察を行ったところ、冬季における送迎時の道幅の狭さや勾配等に不安があることや、建設予定地そのものには影響はないが、強風や災害等が発生した場合の近隣の老朽家屋の安全対策が講じられなければ、園児に安全な生活を保障できないことなどを指摘した。

建設予定地が国有地であり3月末までに契約ができなければ土地購入予算は執行できないこと、当委員会からの指摘事項も踏まえ、議案を取り下げることとなった。

## 産業建設常任委員会

### ◎佐渡版DMO、赤泊振興公社について

4月1日から本格的に始動する佐渡版DMOについて集中審議を行った。佐渡版DMOは観光ニーズの多様化に対応するため、農林漁業や商工業、各種団体などの関係者と連携を図り、観光地域づくりを推進することを目的としている。そのため、佐渡観光協会と佐渡観光交流ネットワークを統合し、一般社団法人佐渡観光交流機構を設立して事業を推し進めていくとの説明であった。

なお、この事業推進について当委員会に対して事前の説明が不足していたことや、市から多額の負担金や補助金が入ることから、説明責任をしっかりと果たすことと指導監督を徹底することを指摘した。

また、赤泊振興公社の経理に関して、現地に赴き、理事長等から現状の聞き取り調査を実施し、状況の把握と確認を行った。

3月定例会においては、5人の議員が代表質問を、14人の議員が一般質問を行い市政について質しました。質問・答弁の内容は質問者本人が要約したものです。



# 代表質問・一般質問



# ココが聞きたい!!

## 一般質問

- ◆ 室岡 啓史 議員 …………… 9
- ◆ ①自助②共助③公助の優先順位を大切に
- ◆ 中村 良夫 議員 …………… 10
- ◆ 危機管理が問われた大規模な水道管凍結被害
- ◆ 猪股 文彦 議員 …………… 10
- ◆ 多額の予算の投入も成果が出ない佐渡観光
- ◆ 上杉 育子 議員 …………… 11
- ◆ 産業の振興と災害に強い島づくりについて
- ◆ 宇治 沙耶花 議員 …………… 11
- ◆ 市長は当事者意識を大切に施策を構築せよ
- ◆ 金田 淳一 議員 …………… 12
- ◆ 突然の本庁舎改修への予算計上について
- ◆ 渡辺 慎一 議員 …………… 12
- ◆ 財政調整基金すべてを食い潰す三浦市政

## 代表質問

- ◆ 新生クラブ 佐藤 孝 議員 …………… 7
- ◆ 観光地域づくりはエリアごとに整備を
- ◆ 政風会 中川 隆一 議員 …………… 7
- ◆ 三浦市政2年目の成果について
- ◆ 政友会 坂下 善英 議員 …………… 8
- ◆ 施政方針について

- ◆ 北 啓 議員 …………… 13
- ◆ ボランティアネットワークの構築を
- ◆ 中川 直美 議員 …………… 13
- ◆ 新年度予算と大規模断水の対応について
- ◆ 駒形 信雄 議員 …………… 14
- ◆ 施政方針について問う
- ◆ 広瀬 大海 議員 …………… 14
- ◆ 人生百年時代の口腔ケア・胃がん予防・雇用
- ◆ 祝 優雄 議員 …………… 15
- ◆ 離島交通の確保は島民の生命線
- ◆ 荒井 眞理 議員 …………… 15
- ◆ 弱者切り捨て行政方針は改善すべきである
- ◆ 近藤 和義 議員 …………… 16
- ◆ 本庁舎改修事業7億円は血税無駄遣いの愚策

- ◆ 市政会 竹内 道廣 議員 …………… 8
- ◆ 間違いだらけの行政運営
- ◆ 公明党 山田 伸之 議員 …………… 9
- ◆ 人口対策と住民一体のまちづくりについて

新生クラブ代表質問

佐藤 孝 議員

観光地域づくりは エリアごとに整備を



**【質問】** 観光地域づくりの推進については、私が以前から主張してきた、佐渡を両津地区、相川地区、国仲地区、南佐渡地区と4エリアに区分し、具体的に整備を進め、観光だけでなく、安全で快適に暮らせる地域づくりをすべしと思うが。

**【市長】** 観光地域づくりの推進については、新たに設立予定の一般社団法人佐渡観光交流機構をプラットフォームとして進めたい。エリア分けについては、地域の特性をしっかりと見極め、色づけされた観光メニューや地元産品の活用につなげたい。

**【質問】** 大学等の長期合宿の誘致は経済波及効果も大きいので、市長の前職でのノウハウや人脈を活用し、交流人口の拡大を図るべきと考えられているか。

**【市長】** 合宿誘致は経済効果だけではなく、地区住民との交流などによる地域活性化も期待でき、佐渡にとつて有益である。私自身の人脈も活用させていただきながら取組みたい。

**【質問】** 佐渡空港2千メートル化が難航しているから、法線を変更し、1千500メートルで50人乗りの小型ジェット機が飛べるように早急に見直すべきではないか。

**【市長】** 県と協議を再開しているが、計画自体の見直しについては協議対象となっていない。

**【質問】** 佐渡汽船取締役会へ伊藤副市長にどういう任務を負わせて臨むのか。

**【市長】** 伊藤副市長を非常勤取締役とすることで、佐渡市の発言力を強化したい。

**【質問】** きめ細かな市民サービスを提供するため、民間

**【市長】** 事業者との連携を図り、コミュニティバスの運行を検討すべきではないか。

**【市長】** 民間事業者と連携したコミュニティバスも組上にのせるべきと考えている。

**【質問】** 部制を廃止し、機動的な課制に戻し、屋上屋を重ねないようにすべきではないか。

**【市長】** 部制は一定程度有効に機能していると感じている。

**【質問】** 職員の不祥事問題は、コンプライアンス研修だけでは無理である。個人面談を取り入れるべきではないか。

**【市長】** 管理職に職員一人ひとりと面談しながら、業務の進捗管理や公務員倫理の意識づけ等を徹底するように指示を行っている。

**【質問】** 三浦市政になり丸2年が経過し、後半に入るが、チャレンジ元年と位置つけた成果はいかがか。

**【市長】** 滞在型観光の促進、雇用機会の拡充及び人、物の運賃低廉化といった重要な施策に取組んできた。

**【質問】** 今年度までは国の社会資本整備総合交付金の対応がいかかがか。

**【市長】** 今年度までは国の社会資本整備総合交付金の対応がいかかがか。

**【質問】** 2月22日の朝日新聞に「佐渡の公社ずさん経営か」という見出しで一般財団法人赤泊振興公社の記事が掲載された。この記事の内容が事実だとすれば大問題である。調査結果の報告を求めるとともに、事実の場合、指定管理者失格と考

**【市長】** 赤泊振興公社については直接運営には関与してはいないが伊藤副市長が理事として参画している。先般の新聞報道を受け、副市長並びに担当部局へ調査を指示し、ヒアリング等が続いている。今後監査報告の内容を踏まえ、一定の調査が完了したら報告させていきたい。

政風会代表質問

中川 隆一 議員

三浦市政2年目の成果について



**【質問】** 三浦市政になり丸2年が経過し、後半に入るが、チャレンジ元年と位置つけた成果はいかがか。

**【市長】** 滞在型観光の促進、雇用機会の拡充及び人、物の運賃低廉化といった重要な施策に取組んできた。

**【質問】** 今年度までは国の社会資本整備総合交付金の対応がいかかがか。

**【市長】** 今年度までは国の社会資本整備総合交付金の対応がいかかがか。

**【質問】** 2月22日の朝日新聞に「佐渡の公社ずさん経営か」という見出しで一般財団法人赤泊振興公社の記事が掲載された。この記事の内容が事実だとすれば大問題である。調査結果の報告を求めるとともに、事実の場合、指定管理者失格と考

**【市長】** 赤泊振興公社については直接運営には関与してはいないが伊藤副市長が理事として参画している。先般の新聞報道を受け、副市長並びに担当部局へ調査を指示し、ヒアリング等が続いている。今後監査報告の内容を踏まえ、一定の調査が完了したら報告させていきたい。

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

**【質問】** 今年度まで緊急経済対策として行ってきた住宅リフォーム補助制度の内容を拡充し、今まで対象外であった宅内配管の修繕等も対象とし、より良い制度と

**【市長】** 島民割引については国の法令に基づき厳格に実

政友会 代表質問

坂下 善英 議員

施政方針について



**【質問】** 産業振興の方針には違和感がある。そもそも産業の振興は佐渡の経済活性化、所得の拡大、雇用の増加が目標となるべきと思うがいかがか。

**【市長】** 所得、雇用につながる起業、第二創業、6次産業に向け、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した創業、事業拡大等支援事業や販売網構築事業などを実施する。佐渡市将来ビジョンで掲げた起業・規模拡大を含め目標達成に向け取り組む。

**【質問】** 観光地づくりの推進は昨年と大きな変化がなく、DMOの構築、体験文化を生かした個人旅行、インパウンドの推進、佐渡文化財団の構築など、言い方は違っているが内容は大きく変更はない。平成30年度の重点対策は何か。

**【市長】** 新たに佐渡版DMOである佐渡観光交流機構を設置する。既存の団体（観光協会・交流ネットワーク）を統合し、従来から取り組んでいる旅行会社との連携によるビジネスモデルは踏襲しつつ、観光地づくりのための機能を拡充する地域の住民との連携を密にし、着地型の行程などを提案できる仕組みを構築する。佐渡観光の舵取り役として単なる既存団体の「看板」のかけかえでも国補助の受け皿でもなく、将来的にも自立する組織とする。

**【質問】** 移住・定住の促進は非常に重要な施策であることとは言うまでもない。残念ながら施政方針や予算を見れば限り新政策がない。むしろ昨年より内容が薄くなっているが今後の対策について問う。

**【市長】** 移住・定住対策は非常に重要であり、これまで移住対策としてPRと情報発信、誘導策や受け入れに取組んできたが、今後強化すべき方針として、移住者にとっての住居の受け皿づくりとして空き家の利活用が重要と考えており、不動産業者とも連携し、空き家情報システムのリニューアルを図る。また、雇用に対する支援策として求人情報だけでなく仕事内容を分かりやすく紹介する。

**【市長】** 移住・定住対策は非常に重要であり、これまで移住対策としてPRと情報発信、誘導策や受け入れに取組んできたが、今後強化すべき方針として、移住者にとっての住居の受け皿づくりとして空き家の利活用が重要と考えており、不動産業者とも連携し、空き家情報システムのリニューアルを図る。また、雇用に対する支援策として求人情報だけでなく仕事内容を分かりやすく紹介する。

**【質問】** 職員の不祥事があとを絶たないが市長の見解は。

**【市長】** 今後もコンプライアンス研修を反復継続し、職員との面談を行い業務の進捗管理、公務員倫理の意識づけを徹底していく。

市政会 代表質問

竹内 道廣 議員

間違いだらけの行政運営



**【質問】** 市長、貴方に与えられた時間は4年間だ。残り2年だ。任期の4年間で何をやるのか、何をしたいのかが重要だ。政治家として現実直視の政策が必要不可欠だ。政治の世界は、一寸先は闇だ。市長交代に市民が求めたものが何であったのか思い起こすべきである。

**【市長】** 貴方に与えられた時間は4年間だ。残り2年だ。任期の4年間で何をやるのか、何をしたいのかが重要だ。政治家として現実直視の政策が必要不可欠だ。政治の世界は、一寸先は闇だ。市長交代に市民が求めたものが何であったのか思い起こすべきである。

**【市長】** 行政運営は公平・公正で弱者には手厚いことが原則だ。市民の期待が幻想で終わる事のないように、議会の反対を押し切って始めた組織の改編だ。最悪だ。百害あって一利なしだ。副市長2人制、更には部制の導入だ。組織統制は全機能しない、職員の不祥事が後を絶たない。部下がしっかりしないのは、上司がだめだからという定理は、我が市役所に当てはまる。直ちに課制に戻すべきではないか。

**【市長】** 今の佐渡市は競争入札になっていない。不正入札は日常茶飯事だ。入札制度の見直しが必要不可欠だ。行政が業者の餌食になっている。このままでは市民からの信頼を失う。真んな佐渡市でいいのか。真剣にこの問題に取り組むべきではないか。

**【市長】** 今の佐渡市は競争入札になっていない。不正入札は日常茶飯事だ。入札制度の見直しが必要不可欠だ。行政が業者の餌食になっている。このままでは市民からの信頼を失う。真んな佐渡市でいいのか。真剣にこの問題に取り組むべきではないか。

**【市長】** 現在、様々な見地からスピード感をもって検討を進めるよう指示している。

**【市長】** 過去に課制に戻すべく、直ちに課制に戻すべきではないか。

**【市長】** 行政においては縦割りの解消が重要だと考えており、現状ではまだ完全に解消されていないものの、庁内での連携、事務調整については一定程度有効に機能し始めていると感じている。

**【質問】** 佐渡空港2千メートル化について触れる。衰退に衰退を重ねる佐渡市にとって最重要課題だ。これは県営空港だ。地権者から同意を得ることは県の仕事だ。地元選出県会議員の無責任と能力のなさに腹が立つ。離島を抱える新潟県の義務行為であることを、県知事にしっかり認識させる必要がある。どう進めるのか。



公明党代表質問

山田 伸之 議員

# 人口対策と 住民一体のまちづくりについて



**【質問】** 佐渡の担い手を育て確保する人口対策を最重要課題と捉え、政策資源を集中すべき。国の施策を活用し、将来にわたる佐渡のグランドデザインを示す必要がある。見解を問う。

**【市長】** 人口減対策は最重要課題であり、あらゆる施策が人口減対策に結びつくという意識のもとに取り組み必要がある。重点施策である観光地域づくりと産業の振興を着実に進めることにより、雇用の場の創出と担い手の育成、確保を図る。人口減少は当面続くという現状を直視した施策の実行が必要であり、人口が減ったとしても世代間バランスが取れていることが重要だと考えている。

**【質問】** 佐渡を訪れる交流人口を増やせば佐渡に滞在している人口は維持・拡大でき、佐渡活性化を図るに極めて重要だ。そのため観光客の受け入れ体制をつくる必要がある。まちづくりは景観、商業、文化・歴史、住民の思いなど多岐にわたるので、担当課が連携し、住民と一体となって進めるべき。見解を問う。

**【市長】** 相川まちづくり計画の策定に当たり、関係各課と支所から成るプロジェクトチームを編成し、副市長が取りまとめ役となつて横断的に取り組む。またグループワークや事業の検討メンバーに市民も参加いただき、官民協働でまちづくり計画を策定する。

**【質問】** 危険家屋に指定されている相川や小木の大型ホテルや佐和田の商業施設などは、住民に危険を及ぼすとともにまちの景観も損なうことから、国の制度を活用した撤去を求めてきたが、その進捗状況を問う。

**【市長】** 相川の歴史的風致としての修景も考慮し、除去後の跡地の利活用も含めて、国の空き家対策総合支援事業等により除去等を計画的に進めていきたい。

**【質問】** トキ外交について。来年度は第1回トキ放鳥10周年、日中平和友好条約締結40周年の佳節に当たる。トキを介した佐渡と中国の相互交流、特に将来世代の子どもたちによる交流に力を入れるべき。見解を問う。

**【市長】** 地域レベルの取り組みとして中国陝西省洋県との交流を続けている。昨年10月に佐渡市が洋県を訪問し、トキを活用した地域活性化へ取り組んでいくことを確認した。長期的、継続的な関係を今後も築いていきたい。

**【質問】** 佐渡の農山漁村の生活を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。7.24水害と半年後の1.24寒波の経験により治山治水の大切さ、難しさを再認識した1年であった。災害等の有事の際における自助・共助・公助のあり方について問う。

**【市長】** 激甚災害となつた50年に一度の豪雨による総被害額は60億円を超える規模で、国県と連携しながら早期の復旧を目指す。また漏水修理の受付件数は、4718件であった。再発防止に向けて、凍結への注意喚起をチラシ、緊急防災無線等により行い、生活弱者へは自主防災組織や集落長等と連携を図れるよう、検討

**【市長】** 佐渡市奨学金条例の



一般質問

室岡 啓史 議員

# ①自助②共助③公助の 優先順位を大切に



を続けていく。災害発生時には地域住民が自発的に活動することが自らの生命を守る上で極めて重要なので、市としても自主防災組織への支援や地域防災リーダーの育成を今後も行っていきたい。また、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進する上で、災害情報の収集及び伝達をスムーズに行う体制の整備や要配慮者への安全確保の体制の整備、関係機関との協力体制の構築などは行政が主体的に推進していく必要があると考えている。なお、湧水位置図や災害時等の非常時における湧水等利用の留意点について、広報などでの周知を予定している。

**【質問】** 新しい佐渡市奨学金制度のあり方について問う。

**【市長】** 新たな奨学金導入した。部を超えた連携についても当然必要であると考えている。